

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

<b>事業名</b>	ふるさとケータイ創出推進事業		担当部局庁	総合通信基盤局		作成責任者	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度～平成22年度		担当課室	事業政策課		課長 古市 裕久	
<b>会計区分</b>	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法第4条66号		関係する計画、通知等				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国民に広く浸透している携帯電話を利活用し、地域の高齢者や子供の安心・安全(医療・介護・健康)をサポートするサービス等を行う「ふるさとケータイ」(地域を支援するMVNO)の創出を推進することにより、暮らしの安心・安全等の確保を図ることを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	今後、携帯電話のMVNOを用いた地域の特性に合わせた通信サービスの提供が、地域振興や暮らしの安心・安全の確保等に寄与すると期待されるため、総務省が地方自治体に対し、「ふるさとケータイ事業」(システムの企画・設計・開発、継続的運用等の一連の連絡)の構築を委託することでその成果の全国への展開を図る。 平成20年度以降、商店街の特売情報及び地域の観光情報を提供するサービス、医療・介護・健康をサポートするサービス及び有害鳥獣職による農作物の被害防止対策のためのサービス、高齢者向けの買い取りサービス等の事業を展開。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		修正予算	0	150	75	0	0
		繰越し等	150	0	0	0	
		計	-150	150	0	0	
	執行額	0	271	74			
	執行率(%)	0.0%	90.3%	98.7%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	MVNO加入契約数(各年度末)		成果実績 万契約	244.7/366.6	268.0/366.6	323.2/366.6 (平成22年12月末)	366.6 (平成23年度末)
			達成度 %	66.7	73.1	88.2	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ふるさとケータイ創出推進事業の構築		活動実績 (当初見込み) 件数	4 (4)	3 (3)	2 (2)	— ( )
<b>単位当たりコスト</b>	37百万 (円/事業)		算出根拠	X:平成22年度予算執行額 Y:事業件数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度の2事業は過疎地の地域振興目的であったため直接の受益者は少ないが、事業から得た高齢者向けのサービスのノウハウは、今後高齢化が進む日本社会において広く役立つもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当該事業の対象は高齢化の進んだ過疎地等であるため、対象人口が少なくかつ高齢者は通信機器に慣れるまでに時間を要することから、単年度では地域振興の観点から目立った成果を出すことが容易ではなかった。しかし、本年度の事業を通じて、過疎地における地域振興に向けた携帯電話サービス開発について多くのノウハウを得ることができ、事業の目的は達成された。また、これらの事業は平成23年度以降も各地方自治体等が承継することで事業を継続しており、今後の当該地域活性化に寄与する事業となることが期待される。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>支出先については公募を実施し、外部の有識者からなる評価会の意見等を参考にして採択しており、使途については事業提案の段階で経費の内訳を提出させるとともに、事業完了後支出先・使途の実績を報告させ、内容を精査し、委託額を確定・精算した。</p> <p>また、支出先とは、適宜、電話連絡及び打合せを行うなど、事業の進捗管理を行っており、現場の状況把握に努めた。また、本事業においては事業により得たノウハウを他地域にも広めることを目的としているため、各地方自治体に成果報告書を作成させるにあたり、事業における成功事例及び課題等を網羅的に分析させた。今後の本件事業後の取組についても、定期的に支出先と電話連絡等により進捗状況を確認するとともに、必要に応じて事業実施現場の視察によって把握する予定。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
22年度をもって事業終了			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
初期の目標を達成し、22年度をもって事業終了			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

総務省  
74百万円

〔 提案案件のとりまとめ、有識者による評価会の開催、  
採択候補案件の決定、委託事業決定、額の確定、事業の評価・分析 〕



【公募・事業委託】

A. 地方自治体(2団体)  
74百万円

〔 案件の申請、委託事業決定後における事業の実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.箕面市			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設備備品費	設置工事費	21			
システム構築経費	システム開発	14			
システム構築経費	システム企画・設計	6			
設備備品費	端末設備一式、サーバのレンタル	2			
調査費	アンケート調査等	1			
計		45	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	箕面市	MVNOを用いた情報配信、公共交通ナビゲーションシステムによる観光促進	45	随意契約	
2	伊根町	MVNOを用いた買物サービス、 地域伝言板による高齢化地域の振興	29	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					